

地質標本館 2017年度特別展

# gsjの ピカイチ研究

—2017年のプレスリリース、主な研究成果より—



2018年  
**3月6日**<sup>火</sup>  
~**3月25日**<sup>日</sup>



開催場所：地質標本館 1階ホール  
開館時間：9時30分～16時30分  
休館日：毎週月曜日（休日の場合は翌平日）

産総研では、研究成果の中で特筆すべきものについて、プレスリリースや主な研究成果としてウェブ発信を行っています。今回の展示では、2017年にGSJから発信した特筆すべき研究成果19件をまとめて紹介いたします。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター



GEOLOGICAL MUSEUM  
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 第七事業所  
TEL: 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSC20180220

## 今特別展で展示している研究一覧

※下記サイトからも閲覧できます

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/list/I\\_research\\_research.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/list/I_research_research.html)



★ プレスリリースを行ったもの

発表・掲載日

- ★ サンゴの骨格形成の高精度な可視化に成功  
—サンゴは能動的に体内のpHを調整して成長する— ..... 1/19
- ★ 低温廃熱を利用したコンパクト型高性能蓄熱システムの開発  
—100°C以下の未利用熱を利用した実証化試験の実施— ..... 3/13
- ★ 高知県地域の表層土壤評価基本図を公開  
—重金属類の暴露リスク評価に基づく土壤評価図— ..... 3/30
- インターネット上で標高データを高速に扱えるフォーマットを開発  
—火山噴火による火碎流の影響範囲や津波の浸水領域をすぐに画像化— ..... 4/28
- ★ 日本全国のウェブ地質図を完全リニューアル  
—新区分による高精細20万分の1日本シームレス地質図が完成— ..... 5/10
- ★ 元禄型関東地震の再来間隔が最短2000年ではなく500年と判明  
—海岸段丘のちゅう密な調査と分析で過去の地震の発生年代を再評価— ..... 5/11
- ★ 土砂災害時にドローンによる埋没車両の探査を目指す  
—つり下げ型の電磁探査システムで車両位置の特定実験に成功— ..... 6/5
- ★ 千葉県市原市の地層を地質年代の国際標準として申請  
—認定されれば地質年代のひとつが「チバニアン」に— ..... 6/7、11/14
- ★ プレート境界断層での温度不均一の原因を解明  
—地震動予測への応用に期待— ..... 6/16
- 地下構造が推定できる「重力図」の和歌山地域版が完成  
—断層の位置や地下の鉱物資源の発見、観光開発に貢献する重力値— ..... 6/23
- 走査型SQUID顕微鏡による磁気イメージングの地質学への応用  
—海底のマンガンクラストの形成年代と気候変動を推定— ..... 6/26
- ★ 日本列島の地殻変動の謎を解明  
—フィリピン海プレートの動きが東西短縮を引き起こす— ..... 6/29
- ★ 電気探査で水道管周辺の土壤を調査する技術を開発  
—路面を傷つけずに水道管の腐食リスクを推定— ..... 7/11
- ★ 香川をつくった1億年の歴史  
—香川県初の5万分の1地質図幅「観音寺」を刊行— ..... 7/24
- ★ サンゴが記録した人為起源二酸化炭素の大気放出による海洋酸性化の履歴  
—塊状ハマサンゴ骨格のホウ素・炭素同位体比から— ..... 8/21
- ★ 日本列島の成り立ちを記録する北アルプスの地質を解明  
—富山新潟県境・泊地域の5万分の1の地質図を刊行— ..... 8/28
- ★ 恐竜化石はなぜ鳥羽で見つかったのか?  
—志摩半島の地殻変動を復元した5万分の1地質図幅「鳥羽」を刊行— ..... 9/14
- ★ 地震発生周期解明の手掛かりとなる地球化学プロセスの計算モデル構築  
—石英脈の形成が地震の発生周期に関係している可能性を提唱— ..... 10/18
- ★ 先島諸島は1771年八重山津波クラスの巨大津波に過去2千年間で4回襲われた  
—津波堆積物の分布から過去の巨大津波の頻度と規模を読み解く— ..... 12/4